

①国際コミュニケーションコース 履修系統図

科目区分別の学修目標	1年次		2年次		3年次		4年次					
	第1 Semester	夏季	第2 Semester	第3 Semester	夏季	第4 Semester	第5 Semester	夏季	第6 Semester	第7 Semester	夏季	第8 Semester
<b>演習関連</b> ① 複数国・複数回の多様な海外体験・留学を基に、異なる価値観や文化的背景をもつ他者を理解し、協働することができる。 ② 修得した知識を主体的に応用し、「課題発見力」、「分析力」、「解決力」を身につけ、それぞれの課題に取り組むことができる。	基礎演習 A (必修)		基礎演習 B (必修)	コース選択 専門演習 I A		専門演習 I B	専門演習 II A		専門演習 II B	専門演習 III A		専門演習 III B
<b>必修 外国語</b> ① 国際コミュニケーションに必要な英語のコミュニケーションスキルを身につける。 ② 実践に役立つスキルの修得を主軸として、「使える英語」の基本4技能である「聞く」「話す」「読む」「書く」ことを駆使することができる。	Intensive English W/R I Intensive English L/S I (※両科目必修) ※1		Intensive English W/R II Intensive English L/S II (※両科目必修) ※1	Advanced English W/R I Advanced English L/S I (※両科目必修) ※2		Advanced English W/R II Advanced English L/S II (※両科目必修) ※2						
<b>専門基礎科目</b> ① 専門的な学修をするにあたって必要な基礎的知識を身につける。	※第1～4 Semesterのあいだに履修することが望ましい：12単位以上選択 【国際理解科目関連】 異文化理解 I → 異文化理解 II    日本史概論 I → 日本史概論 II 市民社会と法    世界史概論 I → 世界史概論 II    国際政治学 I 【コミュニケーション科目関連】 情報リテラシー I → 情報リテラシー II コミュニケーション論 → ことばと文化    Exam Prep. I → Exam Prep. II 【国際ビジネス科目関連】 日本経済入門 → 世界経済入門											
<b>専門発展科目</b> ① 発展学修により「専門基礎科目」で修得した知識を拡充する。 ② 学際的かつ複合的な専門学修により「国際理解力」、「国際コミュニケーション力」、「国際ビジネス力」を身につける。	※第3～8 Semesterのあいだに履修：合計42単位以上選択 【国際理解科目群】 (※10単位以上選択) 日本文化論 → 比較文化論 Japanese History    Japanese Culture Japanese Geography 国際関係論 NPO・NGO論 国際社会と人の移動 地方自治と国際協力 【コミュニケーション科目群】 (※22単位以上選択) Exam Prep. III → Exam Prep. IV 日本語文章表現 I → 日本語文章表現 II 異文化コミュニケーション メディア論 → グローバル化とメディア 情報セキュリティ論 【国際ビジネス関連科目群】 (※10単位以上選択) <経済系科目> 経済政策概論 → Japanese Economy 中国経済論 Contemporary Economic Issues <経営系科目> 国際経営論    国際観光論 → Tourism and World Heritages 観光概論 → 観光資源論    ホスピタリティ論 → 航空実務											
<b>留学・体験科目</b> ① 海外での学修や生活、種々の活動と実体験をとおして、国際理解を深め、国際性を身につける。 ② 言語・文化が異なる人々と様々な形のコミュニケーションを通して豊かな関係を構築することができる。	海外語学研修、フィールド・プロジェクト I ※いずれか1科目2単位を選択必修											
<b>キャリア形成科目</b> ① 自身のキャリアイメージを確立し、卒業後に必要な就業力を身につける。 ② グローバル人材が求められる業界・業種の現状と課題を考察し、卒業後の進路を主体的かつ能動的に決定することができる。	国際キャリア開発 A		国際キャリア開発 B	国際キャリアデザイン演習 A		国際キャリアデザイン演習 B	国際キャリア演習 A		国際キャリア演習 B			
<b>共通教育科目</b> ① 多角的な視野を持つための幅広い教養を身につける。	文章表現入門、地域文化論、地理学、心理学、日本国憲法、現代社会学、現代社会とビジネス、共通教育科目から、日本近現代史、社会学、言語学、環境と社会、地球と環境、人権の諸問題、海運と港湾、ビジネスリテラシー、環境と生態、環境と経営 14単位以上の修得が卒業にとって必要である。											
<b>学修目標</b>	<b>1年次の学修目標</b> ▷ 世界に対して関心を持ち、異文化への気付きを得る。 ▷ 国際理解の基礎的要素に関する知識を修得する。 ▷ 読み書きスキル、ICTスキル、分析しまとめ上げる力等の汎用的技能を身につける。 ▷ 外国語の基礎を定着させる。 ▷ 専門の基礎知識を修得する。 ▷ キャリアに関する意識を醸成させ、将来の希望進路に適したコース内容を理解する。			<b>2年次の学修目標(学部共通)</b> ▷ 国際社会への興味関心を深める。 ▷ 各科目群の専門的知識を拡充させる。 ▷ 海外体験や留学を通じて、主体性を身につける。 ▷ キャリアに関する意識を高める。 ▷ インターンシップに参加する。			<b>3年次の学修目標(学部共通)</b> ▷ 課題研究を意欲した各種情報を獲得する。 ▷ 海外体験や留学を通じて、課題解決能力を高める。 ▷ キャリアに関する意識を具体化し行動する。 ▷ 国際社会に関する専門知識を拡充する。 ▷ 英語による実践的コミュニケーション能力を養成する。			<b>4年次の学修目標(学部共通)</b> ▷ 課題研究を推進させ、卒業レポート等を完成させる。 ▷ 社会人として必要な心得を修得する。 ▷ 進路に関する専門知識を拡充させる。		
	<b>2年次の学修目標(国際コミュニケーションコース)</b> ▷ コミュニケーション能力を高める。			<b>3年次の学修目標(国際コミュニケーションコース)</b> ▷ 英語での専門科目の学修を通じて、英語の能力の向上と英文のリソースから必要な情報を収集できるようにする。			<b>4年次の学修目標(国際コミュニケーションコース)</b> ▷ 国際コミュニケーション関連の研究発表を行う。					

※1 ただし、外国人留学生は、当該英語科目に係る必修要件を、「日本語1」、「日本語2」、「日本語3」、「日本語4」の4科目8単位の修得をもって満たすことができる。  
 ※2 ただし、外国人留学生は、当該英語科目に係る必修要件を、「日本語5」、「日本語6」、「日本語7」、「日本語8」の4科目8単位の修得をもって満たすことができる。